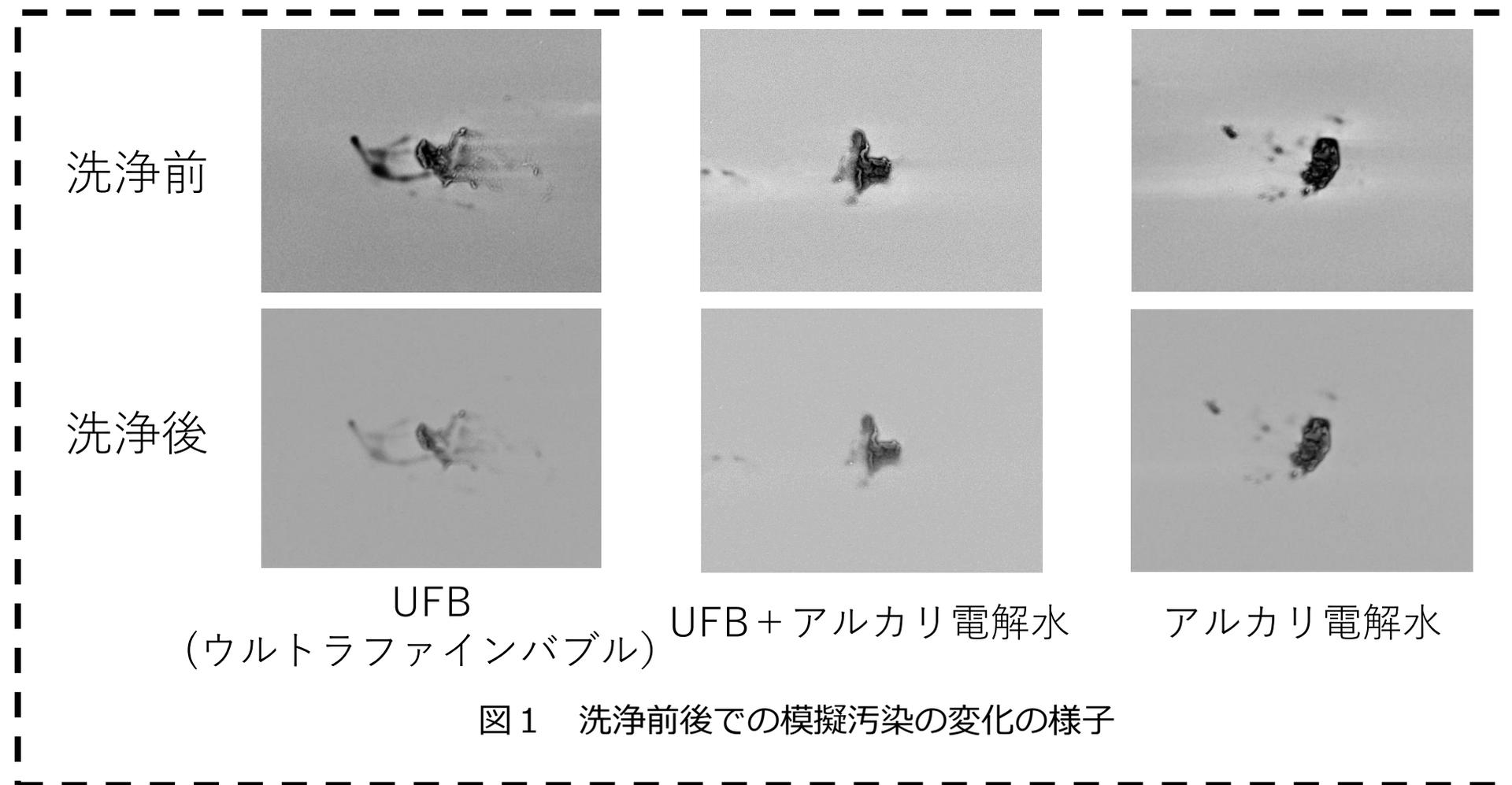


# 異なる手法で洗浄したガラスの表面状態の比較

研究期間：令和4年度

担当者：電子・機械技術部 機械・加工科 三瓶 義之、材料技術部 分析・化学科 杉原 輝俊



## 解決すべき課題

提案企業では、ガラスの洗浄用のアルカリ洗浄液をウルトラファインバブル（以下UFB）やアルカリ電解水及びそれらの混合液に代替することを検討しています。

しかし、これらの洗浄液の洗浄効果の差を客観的に比較することは困難でした。

## 研究内容

洗浄前後のガラスについて、走査型電子顕微鏡での観察及び接触角測定により表面状態を比較しました。

模擬汚染を、UFB、アルカリ電解水及びそれらの混合液で洗浄し、洗浄前後での模擬汚染の変化を観察しました。

## 結果・まとめ

接触角測定により、異なる洗浄手法間の表面汚染の程度を比較することは難しいことがわかりました。

模擬汚染の洗浄前後での比較より、実験したいずれの洗浄液も模擬汚染に対して洗浄効果を持つことがわかりました。

また、これらの洗浄液の洗浄効果には大きな差はないことがわかりました。

**詳細な試験研究報告書はこちら！**

ハイテックプラザ 試験研究報告書

検索 

・「異なる手法で洗浄したガラスの表面状態の比較」

お問い合わせ窓口 TEL : 024-959-1741 (代表 : 産学連携科)